

2025

8

Vol.14 No.8

GSJ 地質ニュース

地球をよく知り、地球と共生する



8月号

-
- 201 **サンゴの骨格形成過程で生じる結晶微粒子を可視化**
大野良和・高橋有南・堤 元佐・窪田 梓・井口 亮・飯島真理子・
水澤奈々美・中村 崇・鈴木 淳・鈴木道生・安元 純・
渡部終五・酒井一彦・根本知己・安元 剛
-
- 204 **2024 年度第 2 回地質調査研修実施報告** 藪田桜子・利光誠一
-
- 211 **第 42 回 GSJ シンポジウム・令和 6 年度地圏資源環境研究部門成果報告会
脱炭素と社会・経済が調和したトランジションに向けて
—エネルギー・環境・資源制約へ対応する燃料資源地質
研究—**
地圏資源環境研究部門広報委員会
-
- 214 **地下微生物が天然ガスの起源を偽装！？**
眞弓大介・坂田 将・鎌形洋一・玉木秀幸・加藤創一郎・五十嵐健輔・
佐藤朋之・皆川秀紀・西川泰則・Ellen Lalk・小野周平
-
- 219 **温暖期なのに昔の東京湾は冷たかった？
—過去の温暖期を生きた貝化石から水温の季節変化を復元—**
三木志緒乃・窪田 薫・中島 礼・棚部一成・山口飛鳥・白井厚太郎
-
- 223 **塵も積もれば山となる？低濃度のリン酸塩でもサンゴの
生育を阻害 稚サンゴの飼育実験から負荷量の重要性を
検証**
飯島真理子・安元 剛・安元 純・井口 亮・鈴木 淳
-
- 227 **最終氷期（2 万年前）以降の日本海水温変化復元に成功
～2 万年前の福井沖の年平均水温は現在のオホーツク海
並みの約 5℃だった～**
池原 研・岡崎裕典・小野寺丈尚太郎・谷崎恭平・西園史彬・
江頭一騎・友川明日香・佐川拓也・堀川恵司
-
- 232 **表層土壌評価基本図～中国地方～の刊行**
原 淳子・土田恭平・川辺能成
-
- 235 **ニュースレター「干支コレクションアワード『巳』2 位獲得！」**
-

地質情報展 2025 くまもと

火の国・水の国

大地のふしぎ

2025 9/13~15 祝

楽しく地球を学べる3日間!

時間

13日 13:00~17:00

14日 9:30~17:00

15日 9:30~16:00

※最終入場は終了時刻の30分前

入場無料



Webをチェック→

会場

熊本城ホール(1階 展示ホールA)

市電:辛島町電停より徒歩2分 近隣に駐車場(有料)あり

展示

熊本の地質や地下水・資源、
地震・活断層・火山・斜面災害などのパネルと解説

実験・
体験



化石レプリカづくり



石割り体験



火山噴火実験 ほか



ミニ
講演会

9/13(土)・14(日)

研究者による
熊本城、火山、活断層、地下水のお話
1階 展示ホールA 14:00~16:00 事前申込不要

日本地質学会
市民講演会

9/15(祝)

九州の恐竜のお話

3階 大会議室A1 14:00~16:00 事前申込不要

お問い合わせ
事務局

TEL : 029-861-3540 (平日昼のみ)
Email : M-johoten2025-ml@aist.go.jp
URL : <https://www.gsj.jp/event/johoten/>

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 中 島 礼
副委員長 戸 崎 裕 貴
委員 竹 原 孝
天 谷 宇 志
草 野 有 紀
宇 都 宮 正 志
山 岡 香 子
大 滝 壽 樹

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 14 巻 第 8 号
令和 7 年 8 月 1 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
中央事業所 7 群

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : NAKASHIMA Rei
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki
Editors : TAKEHARA Takashi
AMAGAI Takashi
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
YAMAOKA Kyoko
OHTAKI Toshiki

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 14 No. 8
August 1, 2025

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1 Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567 Japan

伊豆半島東岸から望む相模トラフ地震によって隆起した中期更新世溶岩の島, 初島 [cover photo](#)



伊豆半島東方沖, 相模灘に浮かぶ^{はつしま}初島は火山島ではない。その基盤は、伊豆弧を形成する 0.6~0.7 Ma に海底に噴出した無斑晶質の安山岩質玄武岩溶岩と 0.3 Ma 以降に噴出したカンラン石玄武岩溶岩の 2 種類の岩石からなる。島には 3 面の海成段丘が認められており、北西方向に緩く傾斜している。最も高い面の標高は約 50 m に達し、三浦半島の小原台面 (MIS 5.3; 約 9 万年間) に対比されている。最新の相模トラフ地震である 1923 年関東地震の際には、島全体が 1.8~2.0 m 隆起したことが知られている。

(写真・文: 七山 太 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター / ふじのくに地球環境史ミュージアム)

Hatsushima Island, as a Middle Pleistocene lava island uplifted by the Sagami Trough earthquakes, seen from the east coast of the Izu Peninsula, central Japan.

Photo and caption by NANAYAMA Futoshi